

【Release】

2020 年 11 月 30 日
公益社団法人日本アドバタイザーズ協会
Web 広告研究会

第8回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者発表 『Web 人大賞』は東京都副知事の宮坂 学氏、 コード・フォー・ジャパンの関 治之氏

361 社が加盟（2020 年 10 月末現在）する公益社団法人日本アドバタイザーズ協会 Web 広告研究会（所在地：東京都中央区銀座 代表幹事：中村俊之）は、第 8 回 Web グランプリ（<https://award.wab.ne.jp/>）の「Web 人部門」、Web 人大賞以下各賞の受賞者を審査の上、決定いたしました。

「Web 人大賞」は、有識者で構成される Web 人賞選考委員会による審査会、及び Web 広告研究会幹事会で審議の結果、東京都副知事の宮坂学氏、コード・フォー・ジャパンの関治之氏が受賞いたしました。この他、選考により「Web 人賞」にビビッドガーデンの秋元里奈氏、出前館の中村利江氏、ビービットの藤井保文氏、法政大学の藤代裕之氏、ファクトチェック・イニシアティブの楊井人文氏が受賞されました。（次ページ以降に詳細）

Web 人部門は、「人」にフォーカスした賞として、優れた Web サイト、Web プロモーションにとどまらず、広くデジタルを活用したマーケティング、コミュニケーション等の原動力となった人物にフォーカスをあて、その方の功績を讃えて表彰しており、前身となる「Web クリエーション・アワード」（2002 年～2012 年）から数えて今年で第 19 回目をむかえます。

昨年までの受賞者はこちらからご覧いただけます。

<https://award.wab.ne.jp/winner/gp07w>

◇この件に関するお問合せ

公益社団法人 日本アドバタイザーズ協会 Web 広告研究会

Web グランプリ事務局 受付時間：10:00～17:00＜平日のみ＞

TEL:03-3543-5855 e-mail:award-info@wab.ne.jp

お問合せフォーム <https://award.wab.ne.jp/inquiries/>

【Release】

第8回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者一覧

【Web 人大賞】

宮坂 学（みやさか まなぶ）氏 （東京都 副知事）

デジタル・インターネットが完全に生活に行き渡り、生活の必須インフラとしての重要性も非常に高まっている中、「新型コロナウイルス感染症対策サイト」をはじめ、市民の生活に直結する自治体の行政サービスがデジタル化し、かつ、従前のサービスがさらに利用しやすくなるといった、デジタルシフトのうねりを生み出したことが大きく評価されました。



関 治之（せき はるゆき）氏 （一般社団法人 コード・フォー・ジャパン）

2011 年の「sinsai.info 東日本大震災 | みんなでつくる復興支援プラットフォーム」や、東京都の「新型コロナウイルス感染症対策サイト」など、市民と行政の新しい協働の形をテクノロジーやオープンデータを活用することで促進、社会課題の解決に尽力してきたことが大きく評価されました。



【Web 人賞】（氏名 50 音順）

秋元 里奈（あきもと りな）氏 （株式会社ビビッドガーデン）

農水畜産物や花き類において、規格ではなく、生産者のそれぞれのこだわりを価値として提示し、これまでの流通構造では評価されにくかった小規模農業従事者が持続可能なビジネスとして成立できるようテクノロジーの活用によりサポート、また、新型コロナウイルス感染拡大による影響を受ける生産者へのサポートを行い続けていることが大きく評価されました。



【Release】

中村 利江（なかむら りえ）氏 （株式会社出前館）

新型コロナウイルスの影響により全国的に外出自粛を求められる中、営業短縮や自粛を余儀なくされている飲食店支援を行ったことだけでなく、配送デリバリーサービスをテクノロジーを活用して届ける仕組みを構築するだけでなく、地域・飲食店に寄り添う形で行い続けていることが高く評価されました。



藤井 保文（ふじい やすふみ）氏 （株式会社ビービット）

昨年・今年と書籍『アフターデジタル』シリーズを上梓し、すべてがオンライン化して行動データが膨大に出てくる時代においては、製品販売型から体験提供型にビジネスの競争優位性が移っていくと主張。折しも新型コロナウイルスの影響で多くの企業にとって、デジタル・トランスフォーメーションが急務となる中、今後の指針・ビジネスのあり方を示したことが高く評価されました。



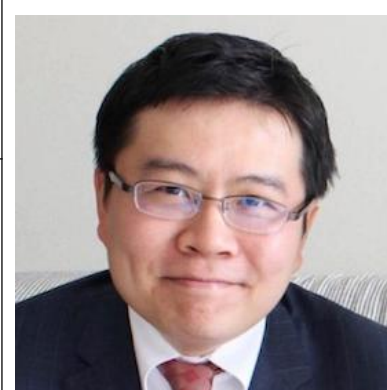
藤代 裕之（ふじしろ ひろゆき）氏 （法政大学 教授）

フェイクニュースの発生と広がる仕組みなど、長年に渡り、デジタル化が進んでいく中でのジャーナリズムのあり方、そして、デジタル時代のメディアと読者の新しい関係性を提示してきました。そして今年出版した「アフターソーシャルメディア」ではソーシャルメディア時代の情報取得について世代や置かれている状況ごとの情報取得スタイルについて研究を行ったことが高く評価されました。



楊井 人文（やない ひとふみ）氏 （特定非営利活動法人 ファクトチェック・イニシアティブ）

誤情報や真偽不明の情報、いわゆるフェイクニュースが拡散し、社会的懸念が高まる中、メディア「GoHoo」にて誤報の収集・検証をなさってきました。世界には多くのファクトチェック機関があること、そして日本においてもその重要性を説き、NPO 法人ファクトチェック・イニシアティブを専門家やジャーナリストの皆さんと立ち上げ、多くのメディアにその体制づくりを支援してきたことが高く評価されました。



【Release】

Web グランプリとは

Web グランプリとは、デジタル社会の発展に貢献してきた「人」と「サイト」を表彰するために設立されました。

2002 年から 11 回開催し、これまで多くの「Web 人（ウェブジン）」を輩出してきた Web クリエーション・アワード（Web 広告研究会主催）と、2007 年から

6 回開催し日本の企業ウェブサイトの発展に寄与してきた企業ウェブ・グランプリ（企業ウェブ・グランプリ主催）を統合し、2013 年を第 1 回として開催いたしました。今年が第 8 回となります。

インターネットがすみずみまで行き渡った現在、Web サイトは社会にとって欠かすことのできないメディアになりました。特に、ソーシャルネットワークが大きな影響力を持つ昨今では、さまざまな情報のソースとしても Web サイトの重要性がいっそう高まっており、多くの方々がその運営に地道な努力を捧げています。

この「Web グランプリ」は、Web サイトの健全な発展をめざすとともに、【Web 関係者の、Web 関係者による、Web 関係者のための賞】として優れた功績を残した企業および人物を顕彰し、その労と成果を讃えることを趣旨としています。

表彰部門は大きく 2 つ「Web 人部門」と「企業グランプリ部門」に分かれています。「Web 人部門」はこれまでの Web クリエーション・アワードに相当し、Web 社会の発展に貢献してきた「人」に授与されます。「企業グランプリ部門」はこれまでの企業ウェブ・グランプリに相当し、各企業のウェブ担当者同士の研鑽により制作・構築された、見本とすべき「ウェブサイト」に授与されます。

【Web 人賞選考委員会 選考委員】

- 今田 素子 2013 年 Web 人賞受賞
(株式会社インフォバーン代表取締役 CEO)
- 長谷川 敦士 2012 年 Web 人賞受賞
(株式会社コンセント 代表取締役社長)
- 安田 英久 2010 年 Web 人賞受賞
(株式会社インプレス Web 担当者 Forum 編集統括)
- 徳力 基彦 2007 年 Web 人賞受賞
(ブロガー／note プロデューサー)
- 平田 大治 2004 年 Web 人賞受賞
(シックス・アパート株式会社 取締役 CTO)



【Release】

Web 広告研究会について

Web 広告研究会は、1999 年 4 月、（社）日本広告主協会デジタルメディア委員会内の研究会を母体として発足しました。（注：日本広告主協会は現在、日本アドバタイザーズ協会に名称変更）業界の枠を超えて Web 広告・マーケティングに取り組む全てのプレイヤーによる研究活動を行う場として、インターネット上の広告展開における様々な課題について、広告主と関連企業・団体（広告会社、メディアレップ、媒体社、調査会社、システム提供会社など）が共通の場で研究活動を行うことにより、インターネット上の広告の健全な発展を促進することを目的としています。

定期的なフォーラム・セミナーの開催のほか、各種広告手法の効果実証実験、企業サイトのプロデュースの研究とその評価、個人情報保護問題への取り組み、ブロードバンド・モバイル環境の研究、生活者のメディア接触変化の研究などの幅広い活動を 10 の委員会と 4 つのプロジェクトで行っております。

構成は以下のとおり

<委員会>

- ・コーポレートブランド委員会
- ・ソーシャルメディア委員会
- ・データ活用委員会
- ・イノベーション委員会
- ・B2B マーケティング委員会
- ・サイトマネジメント委員会
- ・コミュニケーションプランニング委員会
- ・カスタマーエクスペリエンス委員会
- ・モバイル委員会
- ・West Web マーケティング委員会

<プロジェクト>

- ・人材育成プロジェクト
- ・Web グランプリプロジェクト
- ・ネット広告健全化推進プロジェクト
- ・U35 プロジェクト

- 会員社 361 社（2020 年 10 月 31 日現在）
- 代表幹事 中村俊之（株式会社ポーラ）
- 所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-10-7 ヒューリック銀座 3 丁目ビル 8 階
- Web <https://www.wab.ne.jp/>